

御 挨 拶

山口県スキー連盟
会 長 中 村 克 巳

今年も、9月下旬になっても暑い日が続いておりますが、皆様お元気で変わりなくお過ごしのことと存じます。昨年は、地球温暖化の中でも、南岸低気圧のおかげで、湿雪でしたがよく雪が降ってまずまずのシーズンになりました。

今年も、よいシーズンになるように、祈りたいと思っています。

2023、2024年は酒井元ナショナルデモ、2025年は光井恭平国体アルペン選手の指導を受ける事ができ、よい刺激になったのではないかと思います。私は少しずつ体が古くなってきたせいで、それによる影響が、腰、股関節、膝関節の問題が出てきておりますが、薬や筋肉を鍛えるなどしてどうにか対応しております。皆様も、諦めずに体を鍛えてスキーを楽しんでください。

山口県スキー連盟の課題のうち、

1. ジュニアスキーヤーの発掘
 2. 全年齢層のスキーヤーの増加策
 3. 競技役員の減少と高齢化に対する対応
 4. 連盟の財政面の改善策 を考えなければなりません。
1. については、ジュニアスキーヤー育成のためのアクションが今シーズンから始まります。皆様の応援をお願い致します。
3. については、競技部では人員不足になっておりますので、教育部の方にも応援していただく必要があります。よろしくお願い致します。
- 2、4、についても、会員の皆様には、頭にとどめていただき、アイデア、知恵、アクションをいただければ幸いです。

簡単ですが、来るシーズンが天候に恵まれ、良いシーズンが送れるように祈念し、また各行事にご支援いただいている関係各位に対し、心からの感謝の意を表し、ご挨拶といたします。